

平成 22 年度富山県薬事研究所研究課題外部評価結果について

薬事研究所では、平成 16 年度から「薬事研究所研究評価実施要領」に基づき、重要な研究課題について、評価の客観性・透明性を確保するため、外部の専門家からなる外部評価委員会を開催しています。

平成 22 年度、外部評価委員会に諮った研究課題の評価結果等は次のとおりです。

1 開催日時 平成 22 年 9 月 7 日（火）13:30～16:30

2 開催場所 富山県薬事研究所研修室

3 外部評価委員（○：委員長）

委員名	役 職
○倉石 泰	富山大学医学薬学研究部 教授
須田 貴司	金沢大学がん研究所 教授
寺島 信雄	富士フィルム(株)医薬品・ヘルスケア研究所 研究主幹
松井 竹史	テイカ製薬(株) 代表取締役社長

4 評価方法

薬事研究所研究評価実施要領に基づき、各委員には、評価区分ごとに定められた個別評価項目の評価結果を踏まえ、総合評価を 5 段階で評価していただき、その平均点から総合評価を決定しました。

<個別評価項目>

評価区分	評 価 項 目
事前評価	必要性、新規性・創造性、目標達成の可能性、研究内容（計画・方法）の妥当性、有用性（期待される効果）
中間評価	計画の進捗状況、目標達成の可能性、有用性（期待される効果）
事後評価	目標の達成度、成果の有用性、活用の可能性
評価基準	a：極めて高い（極めて適切である） b：高い（適切である） c：ある（概ね適切である） d：低い（改善の余地がある） e：極めて低い（全面的な見直しを要する）

<総合評価>

評価区分	評 価
事前評価	A：計画どおり実施可 B：一部修正して計画どおり実施 C：修正して実施 D：実施不可

中間評価	A：計画どおり継続可 B：一部修正して計画どおり継続 C：修正して継続 D：次年度以降、継続不可
事後評価	A：計画を上回る研究成果が得られている B：計画どおりの研究成果が得られている C：概ね計画どおりの研究成果が得られている D：計画した研究成果が得られていない
評価基準	A：平均点が4点以上の場合 B：平均点が3点以上4点未満の場合 C：平均点が2点以上3点未満の場合 D：平均点が2点未満の場合

5 評価結果

今年度は、次の研究課題について外部評価を行いました。

詳細につきましては、[各個票\(pdf\)](#)をご覧ください。

番号	評価区分	研究課題	総合評価
1	事前	医薬品成分及び指定薬物等の迅速分析法の開発	A
2	事前	サジオモダカの栽培試験	B
3	中間	自然免疫に影響を及ぼす天然生理活性物質の探索	A
4	中間	脂肪蓄積抑制作用に優れた米の開発と機能性評価	B
5	事後	エピテアフラガリン類の生産性技術開発及び高機能性食品への応用 ー生活習慣病などに対する有効性の評価と作用メカニズムの解明ー	B

6 今後の対応

事前評価及び中間評価で、総合評価がBとなった番号2及び4の研究課題について、次のとおり対応いたします。

<番号2>

- ・栽培法の決定にあたっては、形状、成分含量、収量及び作業性などを総合的に評価いたします。
- ・今後、栽培試験を行う薬用植物の選定にあたっては、市場性、費用対効果及び栽培農家の意向等について詳細な調査を行うことといたします。

<番号4>

- ・脂肪蓄積抑制活性に有効な成分を特定し、その含量から品種間の優劣を決定することについて、共同研究機関である農業研究所及び食品研究所と検討いたします。
- ・あわせて、今回いただいたコメントについて玄米有色米品種の選抜・育種に取り組んでいる農業研究所に伝えます。

また、上記以外の研究課題に対していただいた意見を今後の研究に活かし、研究目的の達成に向けて努力していきたいと考えております。